

遠回りでもいつか進むべき道へ

～私にとっての小樽～

小野 優子

平成7年度卒業・アナウンサー



いきなり夢も希望もないことを言ってしまうのですが、私が小樽商科大学を選んだのは「学びたいものがそこにあったから」ではなく、たまたま入ることができたからです。そして4年間通いつづけて自慢できるものと言えば、地獄坂で鍛えられた大腿四頭筋……。

あの頃、将来に対する漠とした不安から逃れたくて、鍛えられた大腿筋でよく札幌小樽間を自転車通勤しました。「何のために？」それは私にもわかりません。でも晴天の札幌を出て途中の張碓あたりで雨に打たれ泥だらけになり、トンネルの中の排気ガスで鼻の中が真っ黒になっても、あの小樽のノスタルジックな街中を走ると疲れが吹っ飛んだものです。車の速度じゃ感じなかったぶんわりした幸福感がたまらなくて、2時間かけての自転車通勤にいつしかはまってました。そしてその年の夏休み、自転車で道内を一周したんです。実を言うと、私が今の仕事、アナウンサーになりたいと思い始めたのはこの自転車の旅からでした。いろんな町の人と出会い優しさを分けてもらったとき、その感動を誰かに伝えたいと思ったんです。

どこに道があるか分からないものですね。それが見つかるまでは「道なんてないんじゃないか」と不安に思ったりしてたのに。でも自分がしたいと思ったこと、どんな小さなことでもいいからまずは行動を起こすことが大切なんだと痛感しています。遠回りでもいつか進むべき道にたどり着けるんだと信じて。

それにしても、道内を自転車で走らなければこの仕事をしてなかったかもしれないわけですが、自転車で小樽の街を突っ切ったときの心地よさが自転車の旅を駆り立てたとするなら…… 私にとって小樽は、ただ大学の4年間を過ごした場所、を超えたものがあるのです。あのおばあちゃんちのにおいをもった街。母性的な温かみが、訪れた人の悩みも不安も包み込んでくれるからほっとするんですね。友人とよく話すんです、年をとったら小樽に住みたいなって。誰にとっても母親的な存在でありつづける小樽が私は大好きです。

小樽商科大学における就職状況

本学の就職状況は、先輩諸氏の長年にわたる活躍等があり、全国の経済界・産業界から高い評価を受け、一定レベルの就職率（90%以上）を維持しています。

しかし、小樽商科大学といえども過去の実績と伝統のみに頼るわけにはいかない状況となっています。

このような厳しい社会情勢に対処するため、就職支援室を設置（平成14年10月）し、「就職相談」及び「就職情報提供」の充実を図りました。特に、「就職相談」については、就職に関するあらゆる相談にきめ細かに応じる体制を整えています。

学生の就職活動の支援事業としては、前年度の10月・11月に3年次生を対象とした就職ガイダンスを行い、12月から2月にかけて約80社の企業・公務員セミナーを実施しております。

求人については、従来、約2,000社の求人票を受け付けていましたが、現在は、学生がインターネット上で企業にエントリーし、企業と直接対応することが主流となったことにより、約700社の求人票をファイルするにとどまり、実数を把握できなくなっています。

しかし、本学は、従前から自由応募の形を貫いており、女子学生が増加の傾向にあるにもかかわらず、次表のとおり、最近5年間の就職状況を見ても、本学学生の奮闘ぶりが伺えます。この状況が継続するよう全学を挙げて万全の体制で就職支援をしまります。

年度	産 業 名										就職者数	進学者数	その他	卒業者数
	農・林・漁・鉱業	建設業	製造業	卸売・小売業	金融・保険業	不動産業	運輸・通信業	公益事業	サービス業	公務				
10		8	(17) 62	(34) 54	(33) 110	3	(16) 33	1	(48) 84	(24) 48	(169) 403	(6) 17	(72) 122	(247) 542
11	1	(2) 6	(14) 50	(42) 82	(35) 86	(4) 5	(15) 24	1	(34) 70	(15) 47	(161) 374	(4) 9	(50) 121	(215) 504
12		(4) 6	(19) 55	(34) 56	(39) 103	(4) 5	(13) 31	(1) 2	(43) 76	(20) 46	(177) 380	(5) 10	(70) 146	(252) 537
13		(1) 7	(28) 66	(26) 63	(35) 91	(2) 3	(4) 18	(1) 4	(41) 91	(11) 33	(149) 376	(3) 7	(73) 173	(225) 556

()内は女子で内数

年度	産 業 名										就職者数	進学者数	その他	卒業予定者数				
	農・林・漁・鉱業	建設業	製造業	電気力・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業	卸売・小売業	金融・保険業	不動産業	飲食店・宿泊業					医療・福祉	教育・学習支援業	複合サービス業	公務
14	1	(2) 3	(26) 52	2	(26) 44	(6) 11	(22) 49	(42) 85	2	(4) 13	(2) 13	(5) 9	(12) 31	(13) 40	(160) 350	(5) 15	(76) 176	(241) 541

平成15年3月12日現在 ()内は女子で内数